

第5回阿南市魅力ある都市づくり審議会 会議録(要旨)

■開催概要

開催日時:令和5年9月29日(金) 10:00~12:00

場 所:阿南市役所 3階 303会議室

・出席者

委 員 7名(委員数9名)

オブザーバー 1名

事務局 10名(市8名、昭和株式会社1名、三井共同建設コンサルタント株式会社1名)

1. 開 会

開会挨拶(阿南市長)

2. 検討事項

(1) 第4回審議会の振り返りについて

第4回審議会での意見の概要について事務局より説明を行った。

(2) パブリックコメント等の実施結果について

阿南駅周辺まちづくり基本計画(素案)に関するパブリックコメント及びオープンハウスの実施結果について事務局より報告した。

(3) 阿南駅周辺まちづくり基本計画(案)について

第4回審議会での意見及びパブリックコメントの実施結果を踏まえ修正した基本計画(案)について事務局より説明した。

(4) 質 疑

[委員]

- ・ 概要版と完全版を二つに分けたことは素晴らしいが、概要版は内部資料や専門家等のための資料ではなく、一般市民のためのものだと思う。概要版は市民に語りかける資料だということを十分考えてほしい。

[委員]

- ・ 正式版の量を減らせば概要版になるのかということそうではないと思う。より市民に分かってもらい、イメージを浮かべてもらって、周りの人とも議論をしてもらうための見せ方、用語を使う。そうすることで市民の納得感も得られやすいのではないか。

[市長]

・ 市民の皆さまに対するコミュニケーションツールとして概要版の役割は大きいものがあり、工夫の余地は多分にあると思う。その一方で、あくまで行政計画であることから、これまでの議論のプロセスに対する整合を図る必要もある。

概要版の8頁に対象エリアのグランドデザインがあるが、このような紐付けしやすい頁に対して、具体的なイメージ案をプロットしていくような工夫が必要だと思う。

[委員]

- ・ 概要版をビジュアル化して、分かりやすく平易な言葉と、図やイラストを使いながら説明するというのは賛成であるが、概要版であろうと使う図は本編にある図を使うのが良い。概要版に新しい絵を使うなら、当然その絵は完全版にも入れた方が良い。
- ・ 災害対策の視点を加えたことはいいことだと思う。
- ・ 完全版の33頁のパス図(阿南図書館用地のパス図)はどこを示しているのかが分かりにくい。31頁のエリア全体の地図を少し左に寄せて右にスペースを空けて、そこに阿南図書館用地や全体のパスを小さくして入れると分かりやすい。図は重複しても構わないので、効果的にいろんなところに散りばめたら良いのではないかな。

[委員]

- ・ 行政計画の基本計画は、ここに文言があるかないかで、これからそれを実現、具現化できるかどうかというところが決まってくると思う。各地区の方針や導入機能案がこれで足りるかどうかを確認していく必要がある。
- ・ 今議論されているイメージやパスの配置については、現段階で具体的に描くのは難しいのではないかな。絵があることでイメージが先行してしまう危険性があると思う。
- ・ 対象エリアを表した図は計画としてとても必要なところで、もちろん市全体のことを考える必要もあるが、この対象エリアの整備計画が市全域にどう波及していくかを描いてみるべきではないかな。

[委員]

- ・ まちづくりに対しての要望として、阿南市はゼロカーボンシティ宣言をしていることから、グリーンインフラを活用して脱炭素型のまちづくりで阿南の豊かな自然を守り、子どもたちがずっと安心して住み続けられるまちであってほしい。そのためには、植物、生物多様性に配慮した事業に取り組んでいる企業や団体に積極的にまちづくりに参画してほしい。

[委員]

- ・ 基本計画にイメージパスを入れることについては、市民の方々もイメージがしやすくなるので賛成であるが、鳥瞰パスは日常生活で私たちが目にするような景色ではないため、加えるとすればアイレベルの普段私たちが目にする景色ではないかな。
- ・ 将来イメージのところ、歩行者ネットワークや幹線道路ネットワークの太さが2パターン示されているが、歩行者ネットワークの太さを変える意味はあるのかな。

[事務局・コンサルタント]

- ・ 細くなっているエリアは、今回の対象区域の外という意味合いで少し弱く表現している。どのように表現するか、事務局で再度検討する。

[オブザーバー]

- ・ パースを見ると、20年後も西側の地区はほとんど変わらないという見方になってしまう。東西をつなぐデッキを造るのであれば、西側のデッキを降りたところにエントランスの入り口みたいなものができて、そこが核となって西側に広がっていくようなイメージが必要ではないか。これだけでは、20年後も単なる連絡橋になっているような気がする。周遊性のある通路の絵が必要と思う。

[委員]

- ・ 図の独り歩きという話が出たが、進めるべきビジュアライズはやるべきであり、気を付けて進めるべきというのは皆さんが指摘のとおりである。まだ決まっていない新図書館の配置に関しては、これはどの案をベースとした図であり、今後の議論で変わることもあるというような注記は入れておいた方が良い。

[委員]

- ・ グランドデザインの中の橋を示している絵(東西連絡通路)が一番重要な鍵になると思うが、その表現が非常に弱いと思う。
- ・ 旧図書館のパースの縮小版を二次元の絵(対象エリアのグランドデザイン)に乗せるのは非常に効果的でいいアイデアだと思う。
- ・ 駐車場をどうするのかという問題は、阿南市の町おこしの最もキーとなることで、これは阿南市だけの問題ではなく、世界中の都市計画で車の乗り入れをどうするのが問題となっている。一つのアイデアとして、駐車場を中心の周辺部にいくつか造っておいてそこへ車で来てもらい、そこから歩いてもらう「パーク&ウォーク」というやり方がいいのではないか。地図にある旧図書館のかなりの部分を駐車場にして、車で来る人はここへ駐車して新図書館に行ってもらおう。この距離わずか250メートルで、このくらいなら誰でも歩けると思う。新図書館には、高齢者や身体障がい者等優先の駐車場を造っておいて、巨大な駐車場は新図書館には造らないという形にしておけばウォークアブルになる。
- ・ 今回の検討対象区域を表している赤い線は、他の地域を除外するような感じになることから、強い線ではなく、少なくとも点線で表すようなことを考えていただきたい。

[会長]

- ・ 阿南は水の豊かな所であるが、街なかの水路が排水路のイメージに変わっている。水路を改善し、植栽等で魅力アップしてウォークアブルなまちにつなげてほしい。
- ・ 概要版に関して、委員から提案のあった挿絵の挿入を事務局に検討してほしい。
- ・ 今回が最終の審議会となることから、これまで審議を積み重ねてきた中でのこの基本計画案について承

認し、市長に答申したいと考えているが異議ありませんか。

[委員]

- ・ 駐車場は必要最低限だけを整備するという事はいいと思うが、歩行者ネットワークを表す緑の線が新図書館の所で切れており、西側とつながっていないので、これをつなげていただきたい。東西が繋がっているというのがすごく大事な事だと思う。

[会長]

- ・ 本日いただいた意見を踏まえ、事務局で最終的な修正を加える必要はあるが、今回が最後の審議会となることから、審議会としてこの基本計画案を承認する答申を市長に対して行うことに異議ありませんか。

[市長]

- ・ 先ほど委員から指摘のあったビジュアライズされたものが独り歩きしてしまうことをどうリスクヘッジしていくかは非常に重要なことであり、計画書の鳥瞰図は削除した方が良くと思うが、この点について、諮っていただきたい。

[委員]

- ・ 31頁(ランドデザイン)の中に小さくして載せておいて、パターン2を基に作成したということを説明していれば問題ないと思う。無くしてしまうのは少しもったいない。

[市長]

- ・ 行政計画的にどういうリスクがあるのかという問題提起から、削除もありではないか、という趣旨ではあったが、ランドデザイン図を左に寄せて空いたスペースに挿絵的に挟み込むことでもいいと思う。しかし、避けなければならないのは、このパース図がいろんな形で憶測を呼んでしまうこと。

[委員]

- ・ 判断はお任せします。

[会長]

- ・ 議論の中心は基本的な計画案ではなく、どのように表現するかということが中心であるため、本案については皆さんに承認していただいたものとし、イラストやパースの挿入等に関する意見については、事務局で最終的な調整をお願いしたい。
- ・ 昨年8月に開催した第1回審議会から本日の第5回審議会まで長期にわたり御協力をいただき有難うございました。

3. 閉会

閉会挨拶(阿南市長)